

那覇空港を巡る最近の情勢



【概要】

空港種別 / 第二種
 設置管理者 / 国土交通省
 標 高 / 4.5m
 面 積 / 325ha
 滑 走 路 / 3,000m × 45m
 運用時間 / 24時間
 利用時間 / 24時間

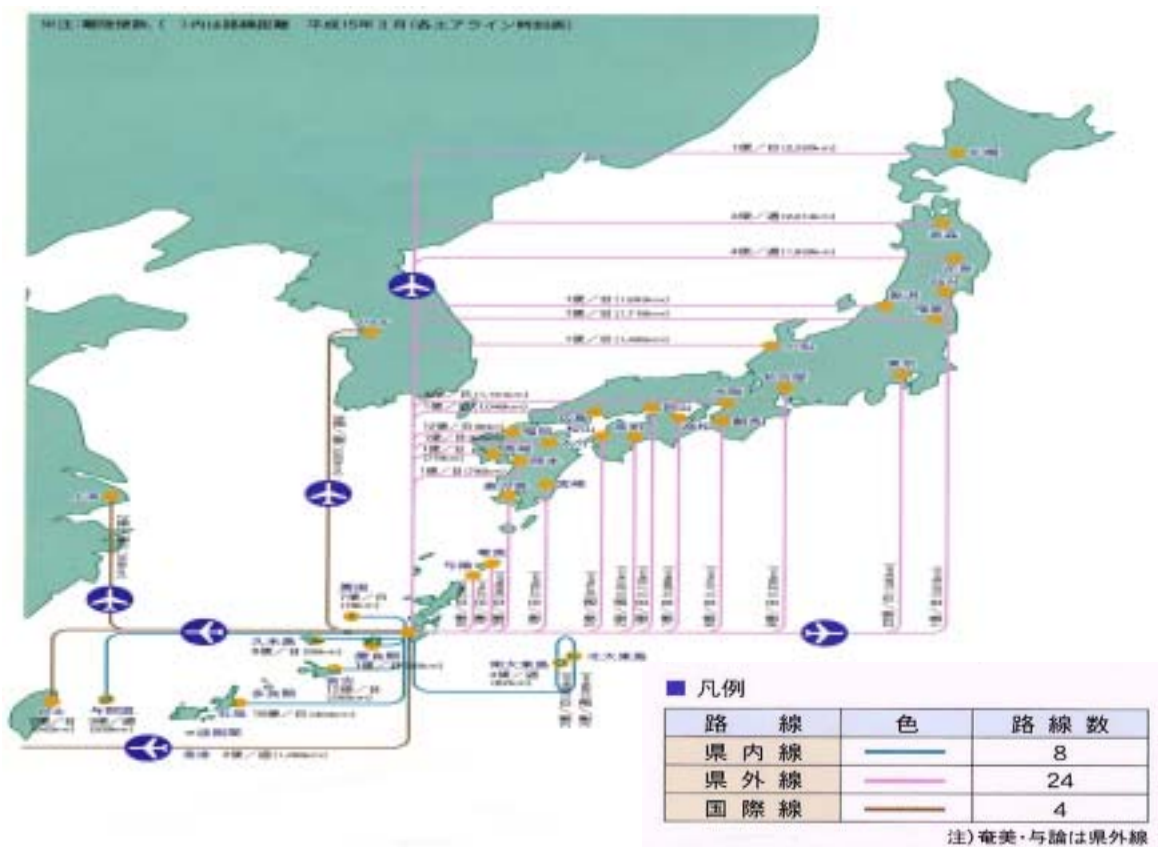
【沿革】

1919(昭和8年) 「海軍小禄飛行場」の開港
 1945(昭和20年) 米国空軍那覇飛行隊の管理「那覇飛行場」となる。
 1972(昭和47年) 本土復帰に伴い、第二種空港「那覇空港」となる。
 1986(昭和61年) 滑走路3,000mの供用開始
 1999(平成11年) 「那覇空港国内線旅客ターミナルビル」供用開始
 2003(平成15年) 「沖縄都市モノレール」供用開始

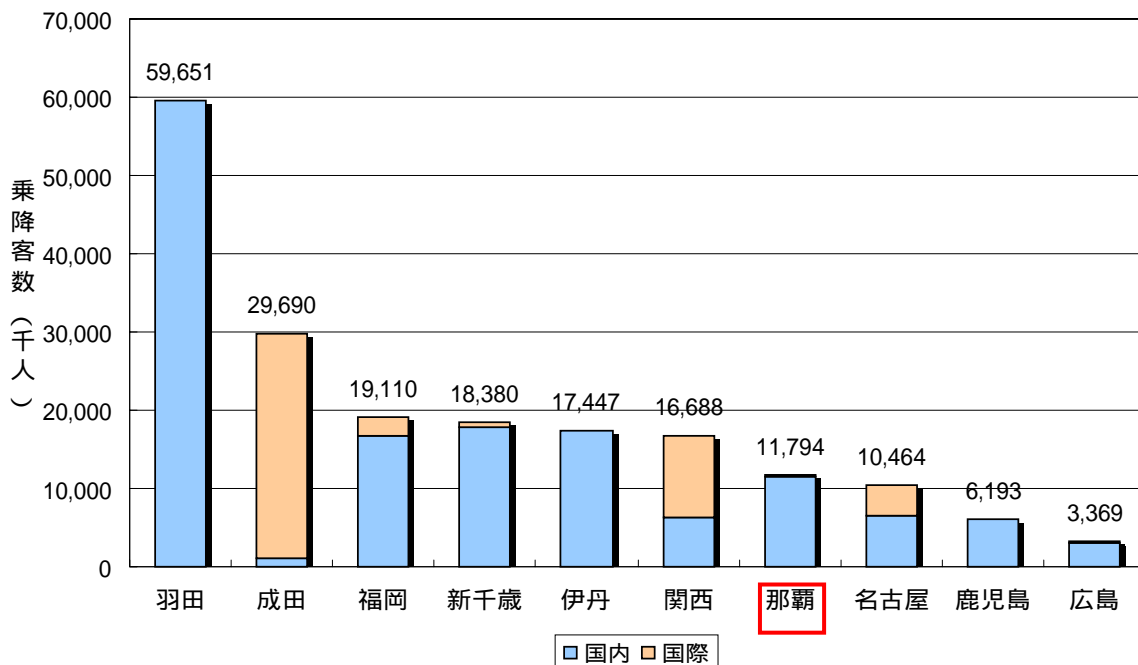
【交通政策審議会航空分科会答申 平成14年12月】

那覇空港については、「主要地域拠点空港」として位置付けられ、将来にわたって国内外航空ネットワークにおける拠点性を発揮しうる空港能力を確保するため、既存ストックの有効活用方策や中長期的な観点からの滑走路増設等を含めた抜本的な空港能力向上方策等について、幅広い合意形成を図りつつ、国と地域が連携し、総合的な調査を進める必要がある。

路線網と便数

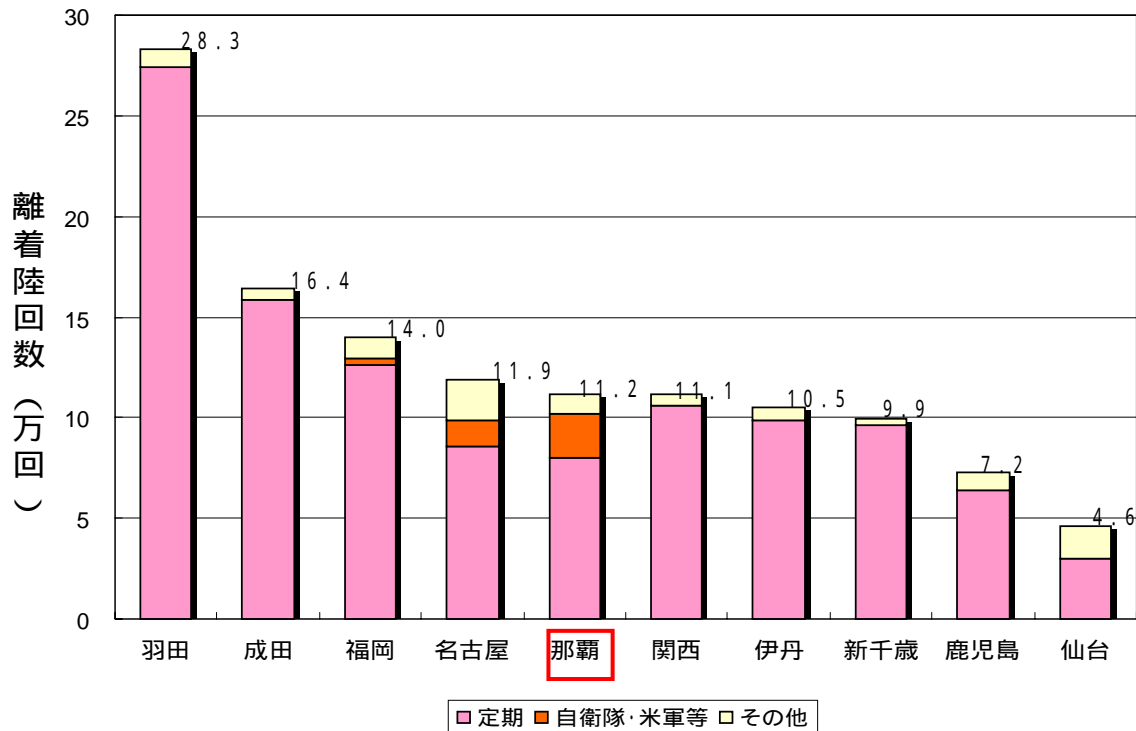


年間旅客数 (平成14年度実績)



那覇空港は、国内線旅客数においては、
羽田、福岡、新千歳、伊丹に次いで第5位

年間離着陸回数 (平成14年実績)

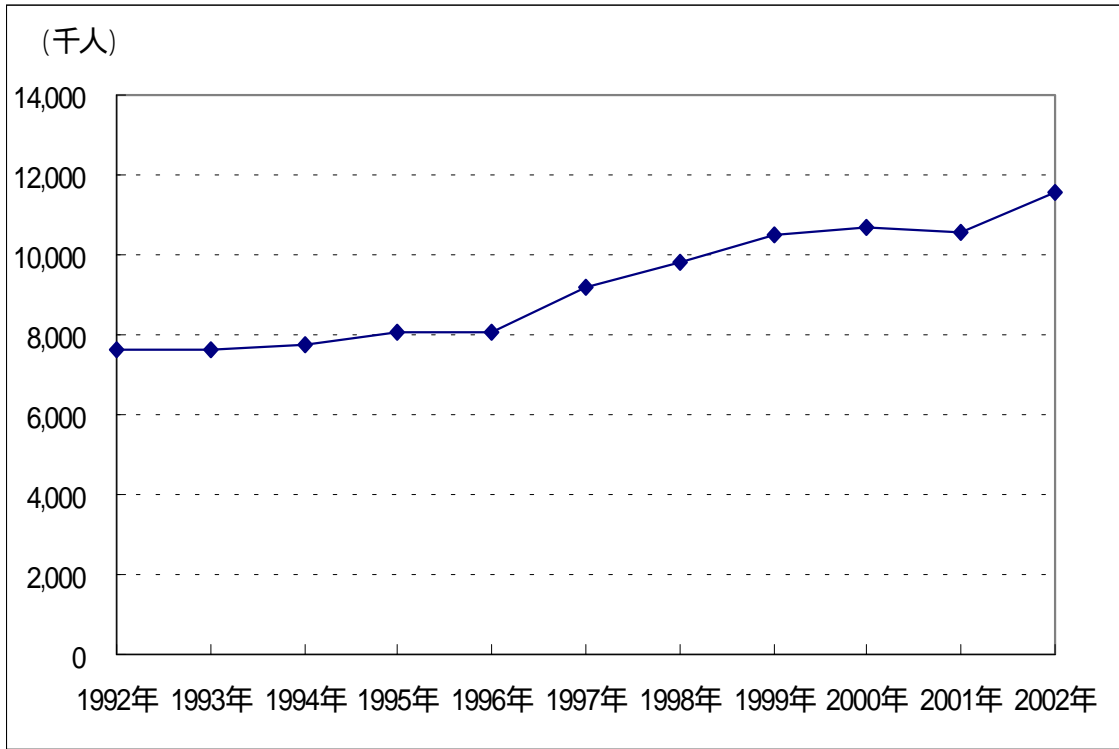


那覇空港は、離着陸回数においては、**第5位**

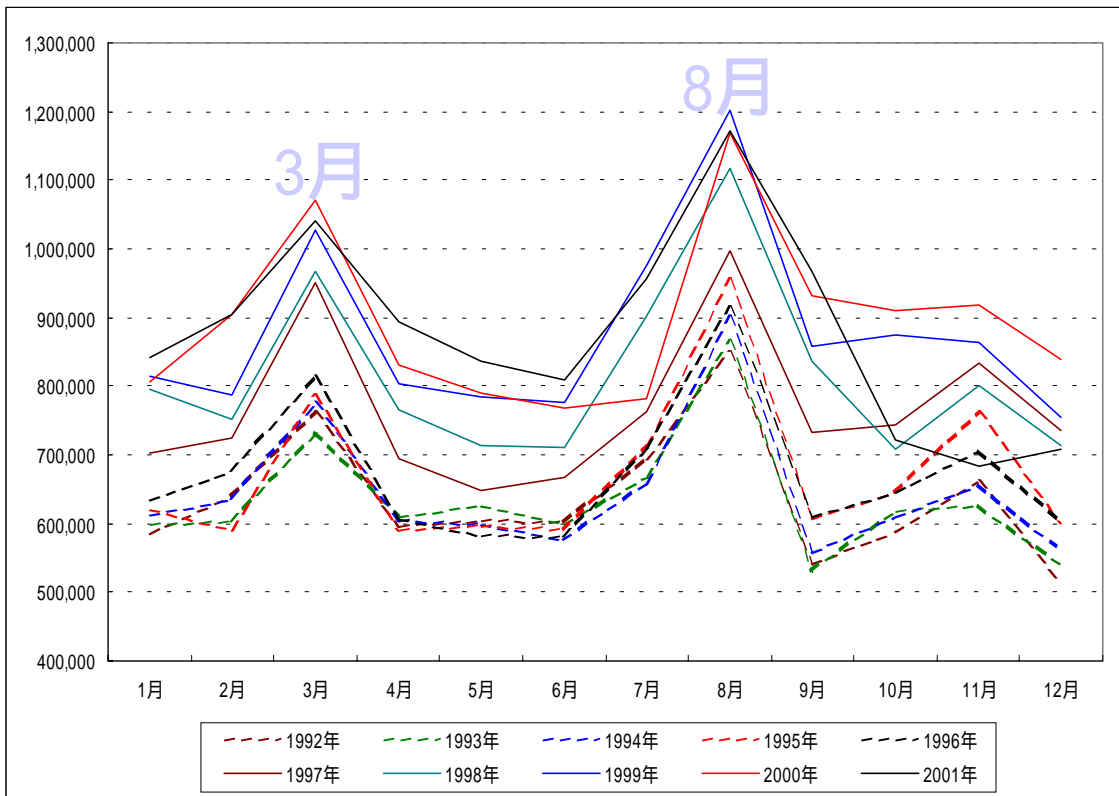
那覇空港の位置付けとその特性

- 主要地域拠点空港
- わが国西南端に位置する沖縄県の玄関
- 県内離島線の基幹空港
- 利用者の大半が観光客
- 自衛隊との共用空港
- 大型ジェット機から小型プロペラ機まで
大小様々な航空機(定期便)が利用

国内線年間旅客数の経年変化



月別旅客数の経年変化



時間帯別離着陸回数の経年変化

